

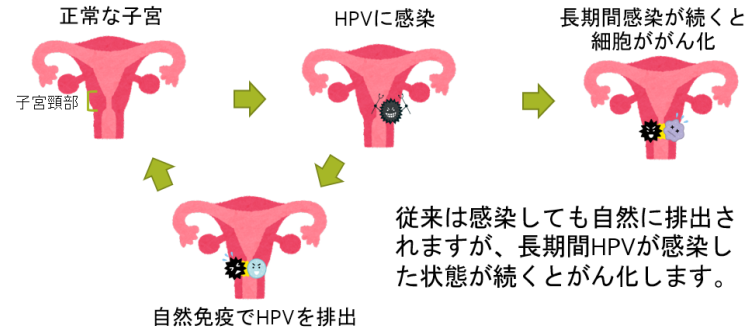
## 子宮頸がんとは？



HPV（ヒトパピローマウイルス）に感染することで子宮頸部の細胞ががん化することがわかっています。

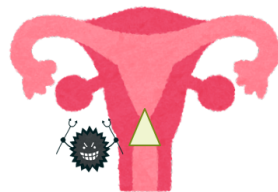
HPVは主に性的接触で感染しますが、50～80%の人が人生で1度は感染するというありふれた感染症です。

## 子宮頸がんとは？



従来は感染しても自然に排出されますが、長期間HPVが感染した状態が続くとがん化します。

## 子宮頸がんとは？



早い段階で発見されれば、頸部の一部を切除する円錐切除術で子宮を残すことができますが、早産のリスクが高まる可能性があります。

発見が遅れると、将来の妊娠を諦めなければいけないこともあります。

早期発見のために20歳を超えたら2年に1度の検診が大切ですが、

**そもそもHPV感染を予防することが第一！**

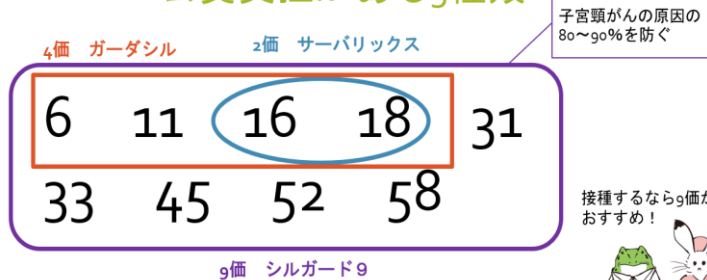
## HPV（ヒトパピローマウイルス）とは？



100種類以上確認されています。ドアノブでも見つかるほどどこにでもいるウイルス。

大別すると皮膚に感染するものと粘膜に感染するものがあり、子宮頸がんのほか、口腔がん、咽頭がん、陰茎がん、肛門がんの原因になることがわかっています。

## HPV感染を予防するHPVワクチン 公費負担がある3種類



接種するなら9価がおすすめ！



特にがん化しやすい型のウイルスの感染を予防することができます！



## キャッチアップ接種って？



本来HPVワクチンは小学6年生～高校1年生の時期に接種が推奨されている定期接種（※1）ですが、平成9年度～平成18年度（1997年4月2日生まれ～2007年4月1日生まれ）（※2）の方が対象年齢の時に接種勧奨の取り組みが控えられていました。

接種機会を逃した方たちが接種できるように設けられた機会がキャッチアップ接種で、期間は令和7（2025）年3月までです。

※1 定期接種～国が接種を勧奨しているもの

※2 このほか平成19年度生まれの方は、通常の接種対象年齢を超えても令和7（2025）年3月末まで接種できます。